**2025 年 05 月（第 9 版）
*2015 年 10 月（第 8 版）
承認番号：20900BZY00293000

医療用品 4　整形用品
* 管理医療機器　歯科根管ポスト成形品キット　「JMDN」70924000

パラポスト　ＸＰ　鋳造用技工キット

【禁忌・禁止】
チタン合金により発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
本品は、支台歯の中心支柱となるポスト及びコアーを作成するときの一連の必要な専用小道具をセットにしたもので、直接法及び間接法のいずれでも使用出来ます。又修復が完了するまで暫間的に歯冠を作成出来るよう暫間ポストを含んでいます。

［種　類］

ドリル　サイズ　#3　0.036 インチφ用
#4　0.040 インチφ用
#4.5　0.045 インチφ用
#5　0.050 インチφ用
#5.5　0.055 インチφ用
#6　0.060 インチφ用
#7　0.070 インチφ用

インプレッション　ポスト
サイズ　#3　0.036 インチφ用
#4　0.040 インチφ用
#4.5　0.045 インチφ用
#5　0.050 インチφ用
#5.5　0.055 インチφ用
#6　0.060 インチφ用
#7　0.070 インチφ用

テンポラリー　ポスト
サイズ　#3　0.036 インチφ用
#4　0.040 インチφ用
#4.5　0.045 インチφ用
#5　0.050 インチφ用
#5.5　0.055 インチφ用
#6　0.060 インチφ用
#7　0.070 インチφ用

バーンアウト　ポスト
サイズ　#3　0.036 インチφ用
#4　0.040 インチφ用
#4.5　0.045 インチφ用
#5　0.050 インチφ用
#5.5　0.055 インチφ用
#6　0.060 インチφ用
#7　0.070 インチφ用

［形状及び寸法］

①ドリル
シャンク部は JIS T 5215（歯科用根管口拡大 G 形ドリル）の軸部型式 1（CA 用）と同じです。シャンク部には、外径別に次表の着色が施されています。

サイズ	ドリル部外径φ	色別
#3	0.90 +0.03/-0mm	褐色
#4	1.00 +0.03/-0mm	黄色
#4.5	1.14 +0.03/-0mm	青色
#5	1.25 +0.03/-0mm	赤色
#5.5	1.40 +0.03/-0mm	紫色
#6	1.50 +0.03/-0mm	黒色
#7	1.75 +0.03/-0mm	緑色

ドリルの刃部には先端から 7mm、9mm 及び 11mm の箇所にラインを施しています。

②インプレッション　ポスト
長さ約 19±0.5mm のポストで、外径別に着色が施されています。外形寸法、及び着色の種類は次表の通りです。

サイズ	外径（mm）	色別
#3	0.90φ+0/-0.05	褐色
#4	1.00φ+0/-0.05	黄色
#4.5	1.14φ+0/-0.05	青色
#5	1.25φ+0/-0.05	赤色
#5.5	1.40φ+0/-0.05	紫色
#6	1.50φ+0/-0.05	黒色
#7	1.75φ+0/-0.05	緑色

③テンポラリー　ポスト
長さ約 13±0.5mm の暫間用ポストで、外径別に着色が施されています。外形寸法及び着色の種類は次表の通りです。

サイズ	外径（mm）	色別
#3	0.90φ+0/-0.05	褐色
#4	1.00φ+0/-0.05	黄色
#4.5	1.14φ+0/-0.05	青色
#5	1.25φ+0/-0.05	赤色
#5.5	1.40φ+0/-0.05	紫色
#6	1.50φ+0/-0.05	黒色
#7	1.75φ+0/-0.05	緑色

④バーンアウト　ポスト
長さ約 19±0.5mm のバーンアウトポストで、外径別に着色が施されています。外形寸法及び着色の種類は下表のとおりです。

サイズ	外径（mm）	色別
#3	0.90φ+0/-0.05	褐色
#4	1.00φ+0/-0.05	黄色
#4.5	1.14φ+0/-0.05	青色

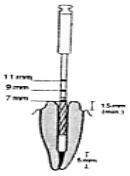
#5	1.25 φ +0/-0.05	赤色
#5.5	1.40 φ +0/-0.05	紫色
#6	1.50 φ +0/-0.05	黒色
#7	1.75 φ +0/-0.05	緑色

［原材料］
①ドリル
刃部　　合金工具鋼又はステンレス鋼
シャンク部　　軟鋼線材又はアルミニウム
②インプレッション　ポスト
スチロール樹脂
③テンポラリー　ポスト
チタン合金製
④バーンアウト　ポスト
スチロール樹脂

［原　理］
欠損歯（失活歯）の根管をドリルで拡大し、ポストを含めた支台歯を鋳造により作成し補綴物を完成させます。

【使用目的又は効果】
失活歯の支台歯製作に用いる。

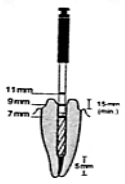
【使用方法等】
［共通部分］
①根管治療完了後、支台歯形成のための前準備を行います。根尖部からコア一部に対しフェルール効果が生かされるよう、形成部位は歯肉縁上に健全歯質が 1.5mm 以上存在するようにします。（図 01.）歯肉縁上 1.5mm の健全歯質が確保できない場合は、歯冠延長、又は矯正的な挺出を行います。



01.

②X 線写真を利用してポスト・ホール形成の適切な径と深さを確認します。穿孔及び根管壁の弱体化防止として、根管壁が十分な厚み（最低 1mm）を備えていること、そして根尖閉鎖状態を維持するためには根尖側にガッターパーチャが 4～5mm 残っていることを確認します。
③ゲイツ・ドリル、ピーソーリーマー又は熱したインストルメントを利用して所定の深さまでガッターパーチャを除去します。X 線写真上で深さを再確認することが望ましい。根管充填がシルバーポイントで行われている場合は先ずシルバーポイントを除去し、ポスト・ホールの形成の前にガッターパーチャで再充填を行います。

④平行なポスト・ホールの形成を開始する前に、上記③の最後に使用したゲイツ・ドリルと同一サイズのパラポスト・ドリルを選択します。形成深さを測定する目的で、パラポスト・ドリルのシャフトには根尖側から 7，9，11mm の箇所にマークが付記されています。ポストの長さを短くする場合にも、このマークはメジャリング・ゲージの役目を果たします。（図 02.）



02.

低速コントラアングルを使用してポスト・ホールを形成します。この場合、ポスト・ホールの形成が完了しドリルをポスト・ホールから抜き取るまでは、常に時計方向に回転させて下さい。こうすることでドリルがポスト・ホール内で固定され、抜き取ることが出来なくなる危険を抑制し、軟化象牙質や切削滓をウォーター・スプレーできれいに根管内から除去出来ます。

⑤所定の径と深さのポスト・ホールが形成されるまで、徐々にドリルのサイズを太くします。

⑥シリンダー型のダイヤモンド・バー若しくは、カーバイド・バーでアンダーカットのない回転防止ボックスを形成します。（図 03.）

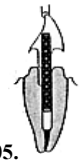

03.

［直接法］
⑦ポスト・ホールの最終形成に使用したドリルと同一サイズのバーンアウト　ポスト（P-751）を形成ホールに挿入します。（図 04.）
ポストを短くする必要が有れば根尖側で行います。


04.

⑧パターン用レジンでコアーを築造します。

⑨ポスト・コアー・パターンを歯牙から取り外します。（図 05.）


05.

⑩テンポラリー　ポスト（P-746）をポスト・ホールに挿入します。必要に応じて根尖側でポストの長さを調節します。即時重合レジンで暫間クラウンを製作します。（図 06.）


06.

ポスト・ホールを損じないようにクラウン辺縁部にのみ仮着セメントを塗布します。ポスト・ホール及びポスト表面には絶対にセメントを塗布しないこと。

⑪スプルー線を立て、埋没・鋳造を行います。（図 07.）


07.

⑫鋳造ポスト・コアーをセメント合着、クラウンとの維持力を最高にするためコアー部分は研磨しないこと。最終補綴物を製作。（図 08.）


08.

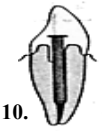
［間接法］
⑦ポスト・ホールの形成の最後に使用したドリルと同一サイズの印象用ポスト（P-743）をポスト・ホールに挿入します。ポストが印象用トレーと接触しないよう必要に応じて印象用ポストの長さを調節します。

⑧弾性印象材で印象を採得します。印象材が回転防止ボックス内にも注入されていることを確認して下さい。（図 09.）ハイドロコロイドで印象を採得する場合、印象内でポストが浮


09.

上しないように、印象用ポストの
部を熱したインストルメントで圧迫し釘状にします。
シリコンやラバー系印象材を使用する場合は、頭部形状を修正する必要はありません。

⑨印象用ポストに該当するサイズのテンポラリー　ポスト（P-746）を挿入します。必要に応じて根尖側でポストの長さを調節し、暫間クラウンを製作します。（図 10）ポスト・ホールを損じないようにクラウン辺縁部にのみ仮着セメントを塗布します。ポスト・ホール、及びポスト表面には絶対にセメントを塗布しないこと。


10.

⑩模型を製作後ピンデックス（別売）又はアキュトラック（別売）を使用し、精密な可撤歯型を完成します。

⑪模型上のポスト・ホールに該当するサイズのバーンアウト　ポスト（P-751）を挿入します。（図 11.）


11.

⑫コアー・パターンを完成します。

⑬模型からポスト・コアー・パターンを取り外します。（図 12.）


12.

⑭スプルー線を立て、埋没・鋳造を行います。

⑮鋳造ポスト・コアーをセメント合着、クラウンとの維持力を最高にするためにコアー部分は研磨しないこと。最終補綴物を製作。（図 13.）


13.

****【使用上の注意】**

［使用注意］

①ドリルとポストは必ず同一サイズのものを使用すること。

②ドリルは減速コントラアングル、回転数 200～500rpm で使用すること。

［重要な基本的注意］

①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

②本品については、試験による MR 安全性評価を実施していない。

【保守・点検に係る事項】

［滅菌条件］

ドリル使用後は、超音波洗浄器、清掃液、消毒剤等を用いて付着物を除去した後、高圧蒸気滅菌器等により滅菌を施すこと。尚、塩素系消毒剤は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】**

製造販売業者：株式会社　茂久田商会
連　絡　先：https://www.mokuda.co.jp
製 造 業 者：コルテン／ウェルデント社／アメリカ
Coltène/Whaledent Inc.,／USA